

# CASBEE® 広島

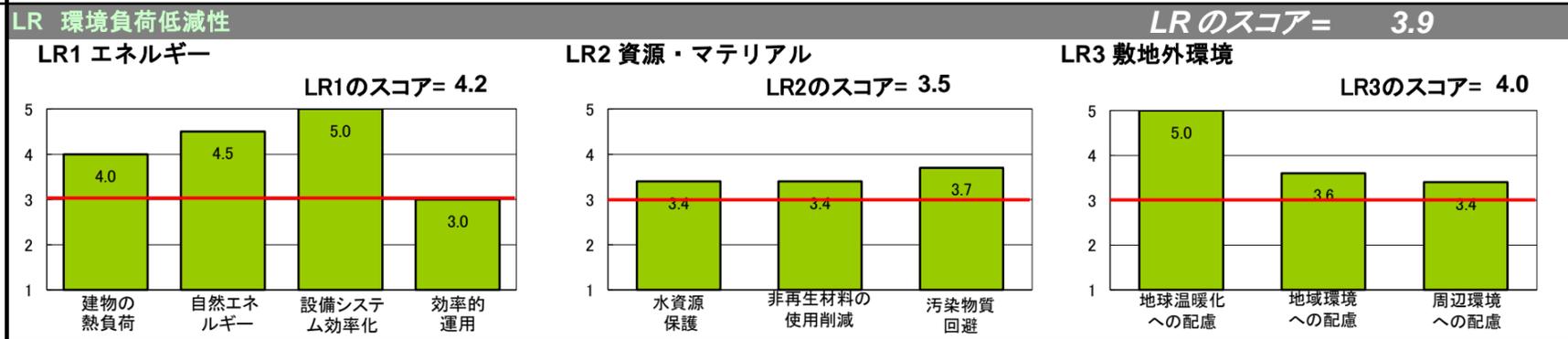
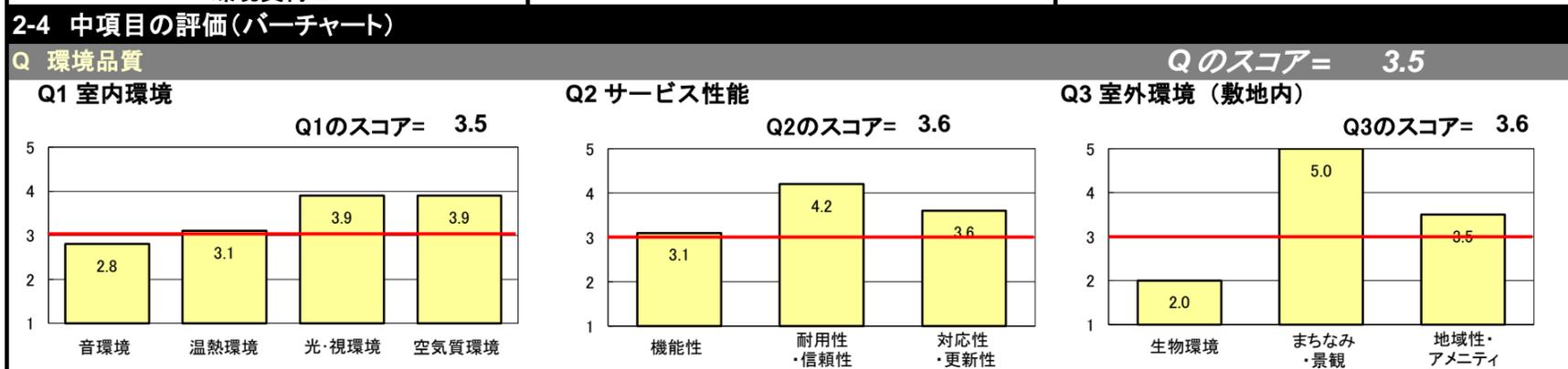
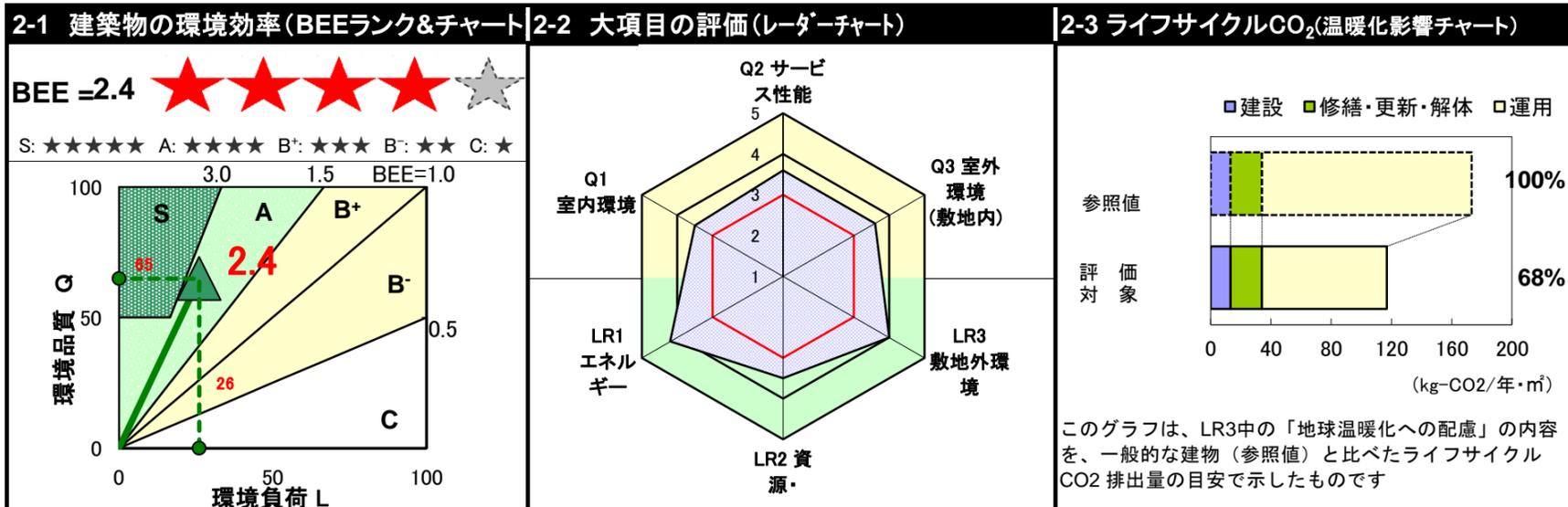
(2010年ver.1)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島鉄道病院	階数	地上7F
建設地	広島圏都市計画事業(広島平和記念公園)	構造	RC造
用途地域	都市計画区域	平均居住人員	500人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2014年3月17日
敷地面積	26,137 m <sup>2</sup>	作成者	深田 靖
建築面積	4,720 m <sup>2</sup>	確認日	2014年3月19日
延床面積	22,582 m <sup>2</sup>	確認者	鳥山 亜紀



### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.9

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.1	スコア = 3.1	スコア = 4.1
<p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>熱負荷統制の高い材料を使用し、結果PAL値を低く抑えた / 太陽光パネルの設置 太陽熱の給湯熱源への変換を行うことにより、自然エネルギーを有効活用している / 空調においては高効率熱源を使用し、照明では適所に人感センサー等の省エネ手法を採用している / 設備システムの効率的運用を行う為に、中央管理盤より、各機器の使用状況を把握することで、最適運転を計画できる / 節水器具を採用している</p> <p>工法にGL工法の採用・間仕切壁にはGL工法の採用をすることにより、再使用可能性を高めている / 特に運用時に設備機器関連から排出されるCO<sub>2</sub>を低く抑える為に、高効率熱源機や、照明の省エネ制御等を行っている</p>	<p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>外構緑化・建物緑化を積極的に取り入れ、舗装部分には透水性舗装を行い、ヒートアイランド対策を行った / 適正な、駐輪・駐車スペースの確保、交通渋滞を起こさないアプローチの検討を行った</p>	<p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>免震装置を採用することで、地震時に建物に与えるダメージを極力少なく計画した。また、更新間隔の長い配管等を採用した。 / 設備機器更新時に建物機能を維持出来るように、バックアップスペースに配慮、機器更新方法の検討などを行った。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される